

小説家 第146回芥川賞受賞 円城塔

円城塔

1972年生まれ。小説家。2012年「道化師の蝶」で第146回芥川龍之介賞を受賞するなど、受賞歴多数。第31回日本SF大賞特別賞等を受賞した故・伊藤計劃氏との共著

『屍者の帝国』は2015年、アニメ映画化もされる。近著に物語と宇宙の構造を巡る『エビローク』（早川書房）、言語の秘密に迫った『プロローク』（文芸春秋）、上田秋成『雨月物語』の現代語訳（『池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集11』）があり、SF／純文学といったジャンルを超えた活躍を見せる。



特別講演

富山学生文学賞 公開選考会

富山を読む × 富山を書く

異色の作風で読者を楽しませてきた三人の奇才が集結。学生が書いた「富山」を作家たちが読みます。優秀賞にはどの作品が選ばれるのでしょうか。選考の様子を公開。そして作家三人も「富山」を舞台にした新たな小説の構想について語り合います。三人は富山をどう読み、どう書くのか。富山発の傑作小説、最初の読者はあなたです。

小説家 (第35回すばる文学賞受賞)

福永 信 澤西 祐典 塔

小説家 (第5回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞)

澤西祐典

1986年生まれ。小説家、日本近代文学研究者。2011年「フラミンゴの村」で第35回すばる文学賞受賞。2015年京都大学大学院博士号(人間・

環境学)取得。2015年秋より、別府大学専任講師。近作に「地獄にて」(『すばる』2016年7月号)や「災厄の船」(『文學界』2016年8月号)などがある。



福永信

1972年生まれ。小説家。ページを越境して一行が延々とヨコに続く(つまり、一行を読み終えるために本の最後までページをめくる必要がある)『アクロバット前夜』(リトルモア)から、墓碑銘がイキイキと語りだす『墓碑銘』(『文學界』2016年8月号)まで、企みに満ちた作品で読者を楽しませる。近刊の編著として、円城塔を含む11名の小説家による短編とアートのワークのコラボレーション集『小説の家』(新潮社)がある。



富山学生文学賞 原稿募集



● 募集要項 ●

- 応募は富山県内の大学・高校等の学生・生徒に限ります
- 応募原稿は未発表小説に限ります
- 短編または長編の一部で、字数は1000字程度とします
- 「富山」という単語が作中に登場することが条件です
- 冒頭にタイトルと、氏名またはペンネームを書いてください
- 作品はイベント当日に印刷して配布させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 締切は2016年11月20日(日)です

● 提出方法 ●

- Wordファイルまたはtextファイルを添付し、下記メールアドレス宛にお送りください
toyamawokaku@gmail.com
- メールで送れない方は下記住所宛に郵送して下さい
〒930-8555 富山市五福3190番地 富山大学学生支援課「富山を読む×富山を書く」企画チーム宛
- 優秀賞の発表は当日イベントで行いますので、応募された方は会場にお越しください

2016年12月4日(日) 13:00開始(12:30受付)

富山大学五幅キャンパス人文学部棟 3階第6講義室

入場無料

どなたでも参加できます

第一部 トークイベント 13:00~13:50

「富山を読む」円城塔×福永信×澤西祐典

青空文庫から「富山」が出てくる作品を選び、1000字程度ずつ抽出したものを鑑賞します。

第二部 トークイベント 14:00~14:50

「富山を書く」円城塔×福永信×澤西祐典

三人が富山を舞台にした小説の構想をめぐらせ、その断片を会場で初披露します。

第三部 会場とのセッション 15:00~16:00

「学生が書く富山」円城塔×福永信×澤西祐典×会場

応募された作品(長編の一部または短編)を三人が公開審査し、優秀賞を決定します。



アクセス

- 市内電車
JR富山駅から約20分:
JR富山駅前「富山駅」停留所にて2系統(大学前行)に乗車約15分→「大学前」停留所下車 徒歩約5分
- バス
JR富山駅から約20分:
JR富山駅南口バスターミナル3番のりばにて富山大学鉄・路線バス「富山大学前経由」に乗車約20分→「富山大学前」バス停下車すぐ

主催/富山大学「富山を読む×富山を書く」企画チーム
(「学生が企画した魅力的・独創的なプロジェクト16」)
問い合わせ先/toyamawokaku@gmail.com